

参加4000人！第59回日本医学検査学会

式 辞

第五十九回日本医学検査学会開会式にご出席いただき、ありがとうございます。
第五十九回日本医学検査学会の学会長として一言ご挨拶を申し上げます。

学会在り方委員会の決定により学会の開催形式が大きく変わりました。

ひとつめは開催地と担当技師会が同じ地域であれば統一都道府県での開催は問わないという点。この決定により、和歌山県のように会員数が少なく、大きな会場を擁しない技師会でも日本医学検査学会を担当できるようにになりました。

ふたつめは、開催曜日の変更です。多くの会員ならびに関係者の方々が参加できる開かれた学会を目指すため土日開催としました。

本学会は「和-Innovation and Future」をテーマに掲げました。日本には古くから「和を以て貴しとなす」、「和して同せず」、「和洋折衷」、「和衷共同」の「和」を含むことわざや熟語の教えが多くあり、古くて新しい「和」、そして開催担当技師会の和歌山の「和」をメインテーマとしました。

臨床検査の「和」、いのちの「和」、人と人の「和」、ちしきの「和」を過去から現在へ、さらに未来へと繋いでいければと考えています。

特別講演Ⅰでは理化学研究所神戸研究所 発生・再生科学総合研究センターの若山照彦先生をお招きし「マンモスが復活する日」と題しマンモスがこの地球上にいた頃にロマンを馳せ、最新の遺伝子学進歩についてご講演頂きます。

特別講演Ⅱでは、タレントの山本シェウ様より「We are シンセキ！僕らは同じ血が流れてるんやで〜」と題して、同じ地球に住み、同じ空気を吸って生活している人間の命の大切さについてご講演いただきます。

更に、新たな試みとして、国際フォーラムとしてアジアにおける感染症検査のクオリティの向上を目的にタイ国と共同でHIV検査における精度管理のためにパイロットスタディーの実施とその報告や一般市民を対象としたHIV抗体即日検査とカウンセリングの実施と関西のお笑い芸人によるエイズ啓発チャリティーイベントの開催いたします。

歌山県臨床衛生検査技師会の若手技師が企画運営するシンポジウムやパネルディスカッション、各分野の基礎分野が学べる教育セッション、ベテラン技師も新人技師にとっても有意義内容であると期待しています。

第五十九回日本医学検査学会が開催されること神戸市は平成七年一月十七日未明に発生した阪神淡路大震災という未曾有の大災害から大きな人の「和」、医療の「和」、いのちの「和」で今日の復旧に至っています。「和」を身近に感じることのできるこの神戸の地より様々な「和」を全国に広げられればと考えています。

最後になりましたが、今学会の開催にあたり、和歌山県臨床衛生検査技師会ならび関係各位のご尽力・ご支援をいただきましたことに、厚く、厚くお礼申し上げます、開会のご挨拶とさせていただきます。

平成二十二年五月二十二日

第五十九回日本医学検査学会会長 田中 久晴

